

DeI~~S~~D

並列データ消去プログラム

プログラム説明書 v1.02

PC カスタム

仕 様

[特徴・機能]

- ・ 1 基毎に交換作業することなく、並列動作による複数デバイス同時進行処理
- ・ デバイス毎に進行状態の色分け表示による、デバイス状態認識機能
＜進行中／劣化状態／セクタ不良状態／中止状態／不良終了／正常終了＞
- ・ 任意のセクタ処理範囲指定機能
- ・ 処理終了後の PC 自動シャットダウン機能
- ・ 処理中断後の継続機能
- ・ コンソール表示のリスト出力機能
- ・ 初期化不能セクタのリスト出力機能
- ・ 起動時プログラムチェック機能（ウィルス感染・改造等による不正検知起動中止機能）
- ・ DCO、HPA 領域有無の表示および領域の初期化機能
- ・ OS 不要による高速起動および OS バージョンアップ対応不要
（PC ハードウェア寿命までの長期利用が可能）

[対応メディア種類]

- ・ 最大 8 基／PC
- ・ シリアル ATA-HDD
- ・ パラレル ATA-HDD（48Bit／28Bit モード）
- ・ SSD
- ＊USB 接続非対応

[最大対応コントローラ数・デバイス数]

- ・ AHCI（SATA 用）：最大 4 コントローラ／PC、最大 6 デバイス／コントローラ
- ・ IDE（PATA 用）：最大 4 コントローラ／PC、最大 2 デバイス(マスター接続のみ)／コントローラ
- ・ NVMe：最大 4 デバイス／PC

[表示機能]

- ・ デバイス固有情報
型名、製造番号、ファームウェアバージョン、全セクタ数、全容量、規格情報
DCO・HPA 領域有無
＊"dco"赤色：DCO ブロック(FREEZE LOCK)又は非対応により DCO 機能操作不可
＊"hpa"赤色：非対応により HPA 機能操作不可
- ・ セクタ数情報
処理セクタ数、残セクタ数

・ 時間情報

現在日時、処理開始日時、継続開始日時、処理経過時間、進行速度[SPD]、
推定所要時間[NET]、推定終了日時[EST]、実行時間[RUT]、終了時刻[ENT]

・ デバイス毎の状態色

進行中：正常進行中（白色）、劣化セクタ有（シアン）、不良セクタ有（黄色）
終了：不良終了（赤色）、中断終了（ライトレッド）、正常終了（水色）

[デモ版および製品版比較]

	< デモ版 >	< 製品版 >
・ 処理対象領域	： 先頭より最大 320GB 位置まで	制限なし
・ 起動時の広告表示	： 有り	無し
・ DCO・HPA 領域消去	： 非対応	対応
・ データ初期化値	： 0x00 固定	任意指定可

[使用手順]

1. スタートアップパラメータ入力

プロンプト "Startup optional parameters ? : " 表示後、Enter キー押下

・ CAN：プログラム実行取り消し

* デバイス正常認識時、接続ポート番号、デバイス情報の一覧が表示されます

2. 実行パラメータ入力

プロンプト "Parameter > " 表示後、パラメータを指定（任意）し Enter キー押下

（入力文字の大・小文字区別なし、パラメータ間スペース区切り）

- ・ PTp1 p2 処理対象デバイスポート指定。（p1 p2...）
- ・ LSn~n デバイスの開始セクタ番号（n~n）。省略時：0。
容量単位文字（任意）：k,m,g,t
- ・ LEn~n デバイスの終了セクタ番号（n~n）。省略時：最終セクタ。
容量単位文字（任意）：k,m,g,t
- ・ LLn~n デバイスの開始セクタからのセクタ数（n~n）。
容量単位文字（任意）：k,m,g,t
- ・ PAD0xnn セクタ書込み値。nn：1 バイト 16 進指定（00~ff）
- ・ PADN 全セクタ先頭位置にセクタ番号値を埋め込み初期化する
- ・ DCO DCO 領域を解放し初期化対象領域とする
（HPA 領域がある場合、HPA も初期化対象）
- ・ HPA HPA 領域を解放し初期化対象領域とする
- ・ LST 初期化不能セクター一覧リスト出力（最大 10000 件）
- ・ SHD 処理終了後に PC 自動シャットダウン

単独（任意）指定

- ・ CAN プログラム実行取り消し
- ・ CON 中断された処理の継続

3. 実行開始

プロンプト "Start OK ? (y/can/[ESC]return)>" 表示後、"y"を指定し Enter キー押下

4. 実行中の停止操作

"Esc" キー押下にてプロンプト "Interrupt[Stop/Down/abort_PT] ?> " 表示後
（時間が掛かる場合あり）以下コマンドを指定し Enter キー押下

- S : プログラム停止
- d : 終了後 PC 自動シャットダウン／無効
- PTp : p ポートデバイス処理中止
- 未入力 : 戻る（処理続行）

[使用例]

- Startup optional parameters ? :

＊指定なしにて Enter キー押下（通常）

== デバイス一覧表示後 ==

- Parameter >

＊指定なし。 一覧表示デバイス全て（最大 8 基）を対象とし全セクタを 0x00 値で初期化

- Parameter > PT1 3

＊ポート 1、3 番のデバイスの全セクタを 0x00 値で初期化

- Parameter > LS2g LE3g LST SHD PAD0xFF

＊全デバイスの 2GB 位置より 3GB 位置迄を対象領域とし、リスト出力指定、自動シャットダウン指定、0xFF 値にて初期化

- Parameter > PT2 LS2g PT3 LE10g

＊ポート 2 番デバイスの 2GB 位置より最終セクタまでを対象領域とし、ポート 3 番デバイスの先頭より 10GB 位置までを初期化

- Parameter > PT2 3 4 5 LS4g LE20g lst pad0xff

＊ポート 2、3、4、5 番デバイスの 4GB 位置より 20GB 位置迄を対象領域とし、リスト出力指定、0xFF 値にて初期化

- Parameter > CON

＊中断した処理を再開する

***PC カスタムにて開発されたプログラムを 無断で掲載・販売・ダウンロード提供しているサイトがあります。**
開発されているプログラム等の掲載（無料版ダウンロード含む）は当サイトおよびベクター様サイトのみです。被害を受けぬ様、十分にご注意ください。

注 1)

- ・物理障害デバイスでは正常動作しない場合があります
- ・UEFI 規格は多機能ですが、全ての機能が ROM チップに組み込まれている訳ではなくマザーボード（ファームウェアメーカー）仕様による違いがあり動作しない場合もあります
- ・パラレル HDD 接続時、スレーブ接続は認識しません。別ポート（マスタ）接続をお試し下さい。
- ・当プログラム利用によって得られる結果についてはどのような場合でも利用者の責任とさせていただきます。また当社は一切の保障責任および瑕疵責任を負いません。

注 2)

- ・DCO、HPA 機能とは HDD のユーザ利用容量を小さく設定（最終セクタ位置変更）する事で、残領域（最後部）を隠し領域（OS からは一切のアクセス・表示不能）にする設定機能（詳細はネット検索願います）
- ・デバイス一覧情報行において DCO、HPA（白色）表示は隠し領域が設定されている事を意味します
- ・dco（赤色）表示で隠し領域処理対象とする場合、DCO ブロック等による対応不能なため以下操作が必要
 - －DCO ブロックによる DCO 操作禁止解除の 2 つの試行法－
 - その 1.
 - 1) PC 電源 OFF
 - 2) 接続 HDD から電源コネクタを外し PC(DeISD)を起動する
 - 3) "Startup optional parameters ? : " 表示後、HDD に電源コネクタを差し込み、スピニングアップ後、20～30 秒後に ENTER キー押下
 - その 2.
 - HDD 用拡張 I/F カード接続による通常使用
- ・DCO ブロック（HDD カスタマイズ変更防止機能）とは、PC 電源 ON 時に BIOS より HDD へ FREEZE LOCK 命令が発行される事で実現されます。
そのため、HDD の電源 OFF 状態での PC 電源 ON、又は BIOS 制御の直配下でない拡張 I/F コントローラ接続により FREEZE LOCK 命令を回避出来ます
- ・DCO、HPA 機能に対応していない HDD もあります。

PC カスタム

URL <http://pc-custom.main.jp/>

E-mail(PC) info@pc-custom.main.jp

DeISD(デルエスディー) 最新版／製品版(有償)のお問い合わせ等は上記 HP／メールにて